



まちづくり団体の取り組み  
～こんなことやってます～

# 人と環境とコミュニケーション

さいせいじゆく

## 「まちづく彩生塾」(龍ヶ崎市)

### 中心市街地の活性化が急務の課題 - 龍ヶ崎 -

龍ヶ崎市は、室町時代から職人のまちとして栄え、江戸時代には龍ヶ崎城のあった台地のふもとに置かれた陣屋を中心に商業が発展した歴史と伝統をもつまちです。

しかし、近年、多くの都市の例にもれず、龍ヶ崎市の中心市街地においては、商業・業務機能の低下や、居住人口の減少、後継者不足など多くの課題を抱える状況にあります。

さいせいじゆく

### 彩生塾の発足と中心市街地活性化への提言

このようななか、彩生塾は、自分達の住む町を自分達の手でよくしていこうという意欲をもった龍ヶ崎の商店経営者や後継者の有志が、「人と環境とコミュニケーション」をテーマに、平成12年9月に立ち上げました。

平成12年度の活動は、中心市街地活性化に関する勉強会や意見交換会を頻繁に開催し、ワークショップ形式により、中心市街地活性化の必要性の確認から始まり、まちの課題の検討を経た上で、「人と環境がコミュニケーションするまちをつくる」の基本方針をたて、中心市街地活性化に向けての提言書を、(株)常陽産業研究所上席主任調査役の久保田 時治氏の助言のもとに作成しました。

この提言書は、平成13年4月に龍ヶ崎市における中心市街地活性化基本計画策定委員会の諮問部会へ提出されました。市では平成14年3月「龍ヶ崎市中心市街地活性化基本計画」を策定しましたが、エコロジーステーション(空き缶・トレー・廃油回収機、リサイクルコーナーなどが備わった拠点)の設置や、人に優しい歩道の整備、商店街の統一的な街並み景観の整備等、彩生塾の提言が数多く採用されています。

中心市街地活性化に向けての提言を検討するメンバー  
多くのメンバーは商店経営をしており、必然的に集まるのは夜。活発な議論が飛び交い、会議終了が翌日になってしまったことも度々。

### 塾の具体的実践活動

今年の6月30日(日)には、「市内循環コミュニティバス(注)運行記念イベント」として、「商店街横断龍ヶ崎うまいもん食べ歩き大会」を企画・実施しました。

6商店会が、各会場に「自慢の逸品」を用意し、当たり前外れの「運だめしゲーム」を行って勝ち進む方式で、2kmの商店街を歩きまわりつつ、龍ヶ崎の名産品を楽しみながら知ってもらうことを目的としました。

また、賞品は、コミュニティバス回数券を中心としたもので、「環境に配慮した人に優しいまちづくり」と「商業活性化」の双方をねらいにした好企画で、総勢153名もの参加があり、大きな反響をよびました。

一方もてなした商店会においても、油揚げ丸まる1枚を使った「ビックいなり」を「逸品」として新たに発案したり、商店会の内部での若手と高齢者間の交流や一体感がこのイベントを通じて生まれるなど、予想外の効果もありました。

(注)コミュニティバス  
7月1日から運行が開始された龍ヶ崎市のコミュニティバス。公共施設や商業施設、病院などを結び、誰もが使いやすく安心して利用できる市民の足として誕生。人と環境に配慮して循環ルートの車両はCNG(圧縮天然ガス)を燃料とし、ノンステップ・車椅子乗降可などバリアフリー対応。運賃は一乗車につき、ワンコイン(100円)。







また、昨年度は、市主催の商業まつり「R Y Uとびあ」と流通経済大学主催の「つくばね祭」に、地元工場の協力で空き缶回収機 2 機を借りて、環境に優しいまちづくりを目指したエコステーション事業を試験的に実施しました。これは、空き缶を回収機に入ると、商店街のクーポン券が発行される仕組みで、このほかにも環境問題への取り組みに対する意識調査を行い、市民の環境に対する意識や来街意識の高揚を図ることに取り組みました。

### 「まちづくりは終わりのないチャレンジ」

彩生塾では、今後、コンセンサス形成事業への協力や地元特産品開発の検討、先進地視察等を通じてにぎわいのあるまちづくりのための具体化策をさらに調査研究し、その実現に向けて活動していく予定です。

塾の名称は、「我が街に彩りを与え、わが街に生命を与え、甦らせる為に集う街と人のための塾」という基本理念から命名されました。

「スタートしたばかりで、取り組んでいることはまだ小さなものばかりです。でも色々なイベントをやりながら商店街のやる気を引き出すと共に、市民も巻き込んでいきたい。市民や行政と私達商工業者がよりよいパートナーシップを形成しながら、『まちづくり』という終わりのない取り組みにこれからもチャレンジしていきたい。」と塾長の椎塚さんは熱心に話してくれました。

(問い合わせ先：彩生塾 塾長 椎塚さん  
事務局 龍ヶ崎市商工会内 0297-62-1444)

\*ただし、龍ヶ崎市中心市街地活性化基本計画については市環境経済部 商工観光課 市街地活性化係へ、またコミュニティバスについては、市都市整備部都市計画課交通体系推進室へ。いずれも 0297-64-1111(代)  
なお、コミュニティバスについては、龍ヶ崎市HP <http://business2.plala.or.jp/ryu-city/townpage/com-bus/com-bustop.htm>も参照ください。



龍ヶ崎うまいもん食べ歩き大会の様様

ビックいなりや、変わり豆腐、まいんコロッケなど、各商店会の趣向を凝らした「自慢の逸品」でおおいに盛り上がった。各賞も、大人の部、中高年の部、小学生の部に分け、子供から大人まで幅広い世代が、「うまいもん」に舌鼓を打ちつつ、街なか歩きを楽しんだ。



「R Y Uとびあ」における空き缶回収機の出展光景  
早稲田商店会連合会や別府亀川商店街など他県の事例を熱心に調査した結果が随所に生かされている。